

団体名 認定特定非営利活動法人こどもステーション山口（山口市）

代表者名	山本 有希	団体の目的
構成員数	418人	子どもたちが芸術文化に親しみ、社会経験や社会参加の機会を広げ、豊かな子ども時代が過ごせる環境づくりを進め、健全な成長に寄与する。
設立	2001年(H13)年2月	
問い合わせ先	083-925-1486（福山）	

事業名 子どもの遊びをゆたかなものに～つくろう あそぼう プレパーク～

- 事業の目的**
- ・講演会により、プレパークの意義や必要性を多くの人に理解してもらい、立ち上げの機運を高める。
 - ・「いちにちプレパーク」の開催により、子どもに楽しさを体験させ、市民に周知・認知してもらう機会とする。

- 事業の内容**
- ・萩わんぱーくの実践に学ぶ
開催日：4月11日 場所：さぼらんて 参加者：10人
内容：萩わんぱーくの成り立ちや運営について学ぶ
講師：白上由紀江さん（萩わんぱーく事務局長）
 - ・いちにちプレパーク
開催日：6/20、8/22、9/26、10/3、11/21、12/19、2/23（全7回）
参加者：延べ1,173人
場所：糸米川砂防園、赤田神社境内、山口県農業試験場
内容：ロープ遊び、竹細工、こま回し、草花染、たき火、段ボール遊び等
 - ・講演会「あそぼう つくろう プレパーク」
開催日：11月3日 場所：山口県旧県会議事堂 参加者：46人
内容：第1部 13:00～14:30「遊びで育つ子どもの生きる力」
第2部 14:45～16:00「遊び場づくりでまちが変わる」
講師：関戸博樹さん（日本冒険遊び場づくり協会代表）

- 事業の成果**
- ・いちにちプレパークに多くの参加があり、ニーズの高さを再認識するとともに、プレーリーダーのスキルアップに繋げることができた。
 - ・講演会により、参加者に活動への理解を広げ、賛同を得ることができた。

活動現場レポート 第5回いちにちプレパーク（R2.8.22／糸米川砂防園）

当団体は、子どもを見守りながら、子どもに任せて自主性を育てるプレパークの実現に取り組まれており、この日は、市民に体験してもらう場として「いちにちプレパーク」を開催されました。

コマ廻し、草木染め、水鉄砲などが用意され、子どもたちが水辺などで思い思いに遊ぶというものでしたが、水辺では常にスタッフが監視し水分補給などにも注意するなど、安全確保に十分配慮されていました。会場は、子どもたちが土を好きなように掘り返しても支障のない公園を選んでいるとのことでした。



水辺での泥あそび